

第5章 子ども（児童会館・青少年センター・子ども会リーダー研修）の調査結果

児童会館にはミニ児童会館を含む

1. 回答属性

(1) 回答数

アンケートの回答数は以下のとおりであり、小学生は3,287件、中学生以上は945件となっている。

表5-1 回答数（小学生）

		回答数
児童会館の所在地	中央区	276 (9.2%)
	北 区	496 (16.5%)
	東 区	431 (14.4%)
	白石区	314 (10.5%)
	厚別区	134 (4.5%)
	豊平区	313 (10.4%)
	清田区	220 (7.3%)
	南 区	163 (5.4%)
	西 区	287 (9.6%)
	手稲区	365 (12.2%)
	計	2,999 (100.0%)
子ども会リーダー研修	288	
合 計	3,287	

表5-2 回答数（中学生以上）

		回答数
児童会館の所在地	中央区	75 (9.8%)
	北 区	117 (15.3%)
	東 区	122 (16.0%)
	白石区	68 (8.9%)
	厚別区	39 (5.1%)
	豊平区	77 (10.1%)
	清田区	34 (4.5%)
	南 区	34 (4.5%)
	西 区	99 (13.0%)
	手稲区	98 (12.8%)
	計	763 (100.0%)
青少年センター	42	
子ども会リーダー研修	140	
合 計	945	

(2) 年齢

アンケート回答者の年齢構成は、図5-1、図5-2のようになっている。

図5-1 年齢（小学生）(N=3,287)

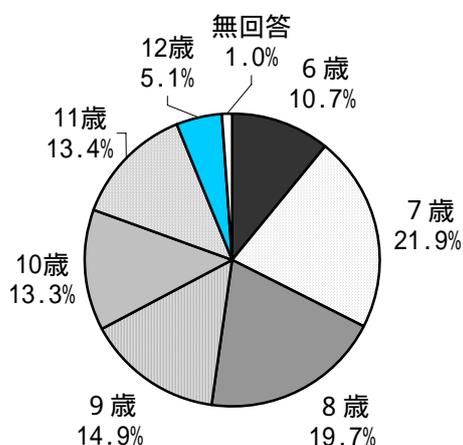
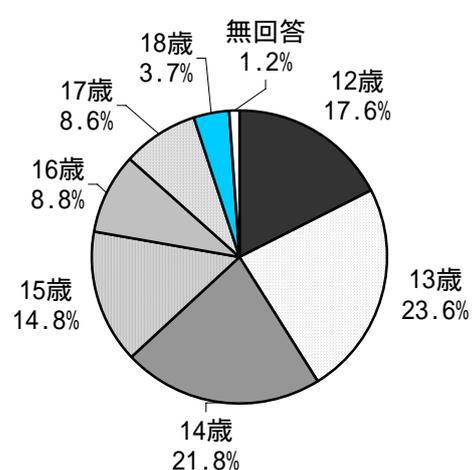
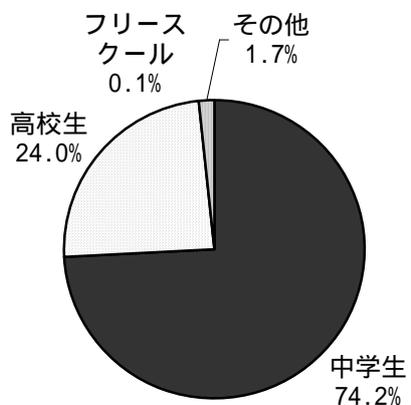


図5-2 年齢（中学生以上）(N=945)



また、中学生以上の内訳をみると、「中学生」が74.2%と最も高く、「高校生」は24.0%となっている。

図5 - 3 学校（中学生以上）(N=945)



(3) 性別

性別については、小学生では、「男性」が46.4%、「女性」が52.1%となっており、中学生以上では、「男性」が61.1%、「女性」が34.2%となっている。

図5 - 4 性別（小学生）(N=3,287)

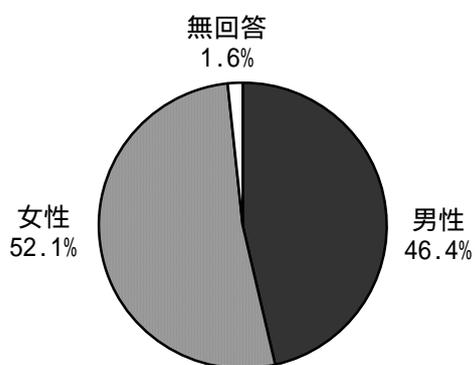
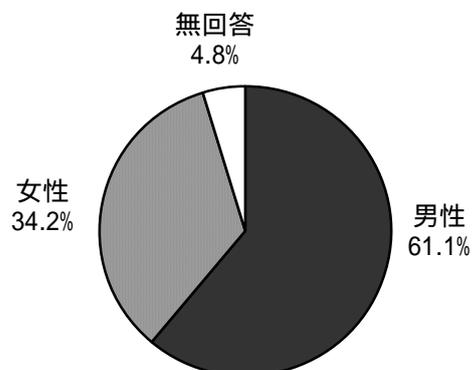


図5 - 5 性別（中学生以上）(N=945)



2. 自分のことが好きか

自分のことを好きかとたずねたところ、小学生、中学生以上ともに「どちらともいえない」が60%以上と高くなっている。また、小学生では、「好き」が「嫌い」を18.8ポイント上回っているのに対して、中学生以上では、「嫌い」が「好き」を1.9ポイント上回っている。

図5-6 自分のことが好きか
(小学生)(N=3,287)

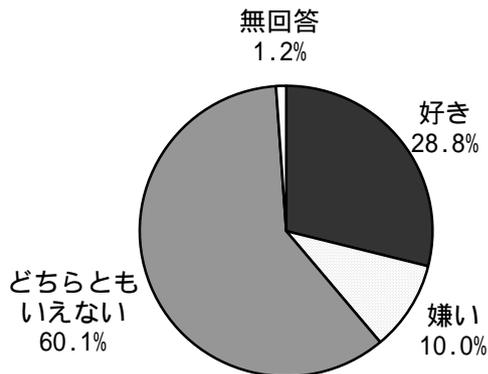
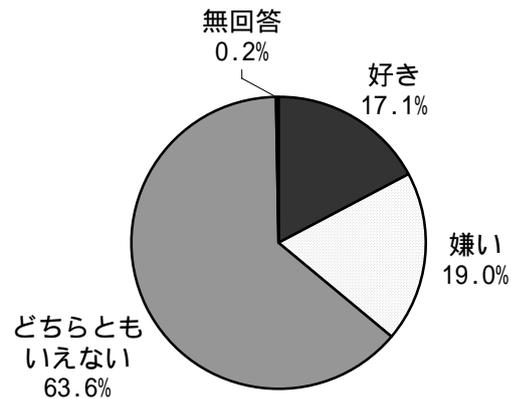


図5-7 自分のことが好きか
(中学生以上)(N=945)



3. 落ち着く場所、好きな所

落ち着く場所、好きな所をたずねたところ、小学生、中学生以上ともに、「家の中」が80%以上と高く、次いで「近所」、「自然の中」が60%以上となっている。一方、「落ち着ける場所がない」は約1%と低くなっている。

図5-8 落ち着く場所・好きな所
(小学生)(N=3,287、複数回答)

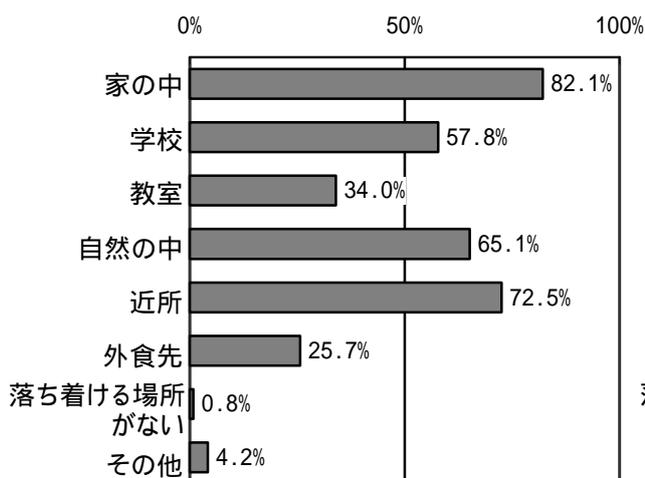
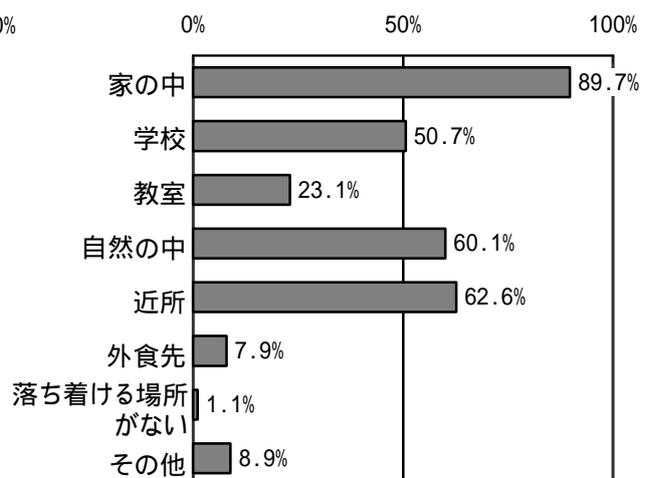


図5-9 落ち着く場所・好きな所
(中学生以上)(N=945、複数回答)



また、落ち着く場所・好きなところを詳細にみると、小学生では、「自分の部屋」が47.0%と最も高く、次いで「公園」が35.0%、「学校の教室」が33.8%、「自分の家の居間」が33.4%となっている。一方、中学生以上では、「自分の部屋」が68.8%と飛び抜けて高くなっており、次いで「学校の教室」が37.8%、「公園」が34.4%となっている。

図5 - 10 落ち着く場所・好きな所（詳細）
（小学生）(N=3,287、複数回答)

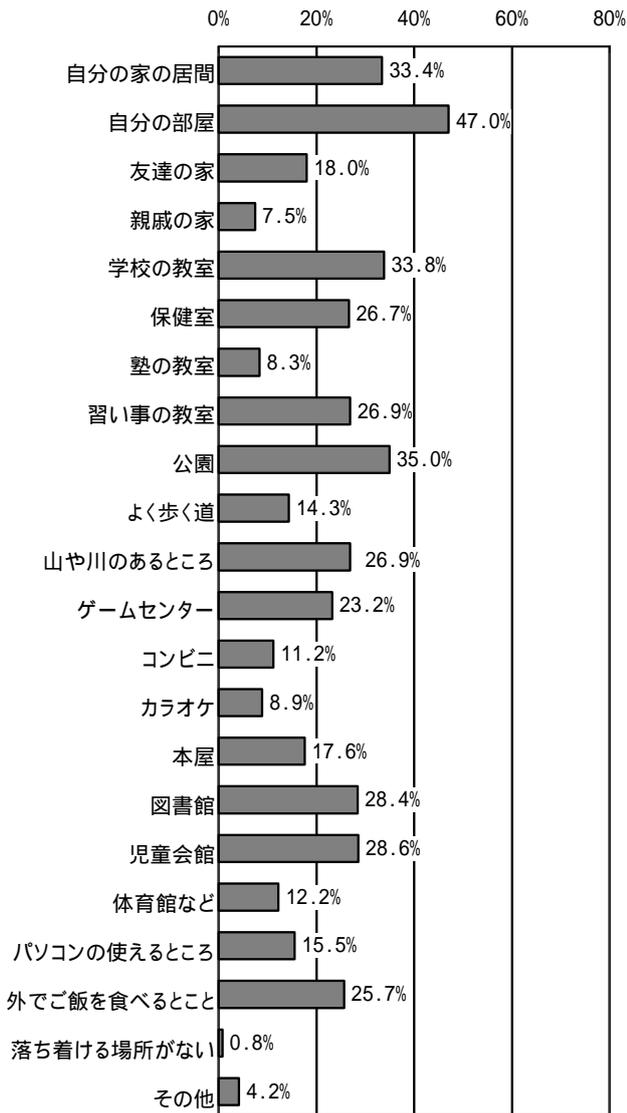
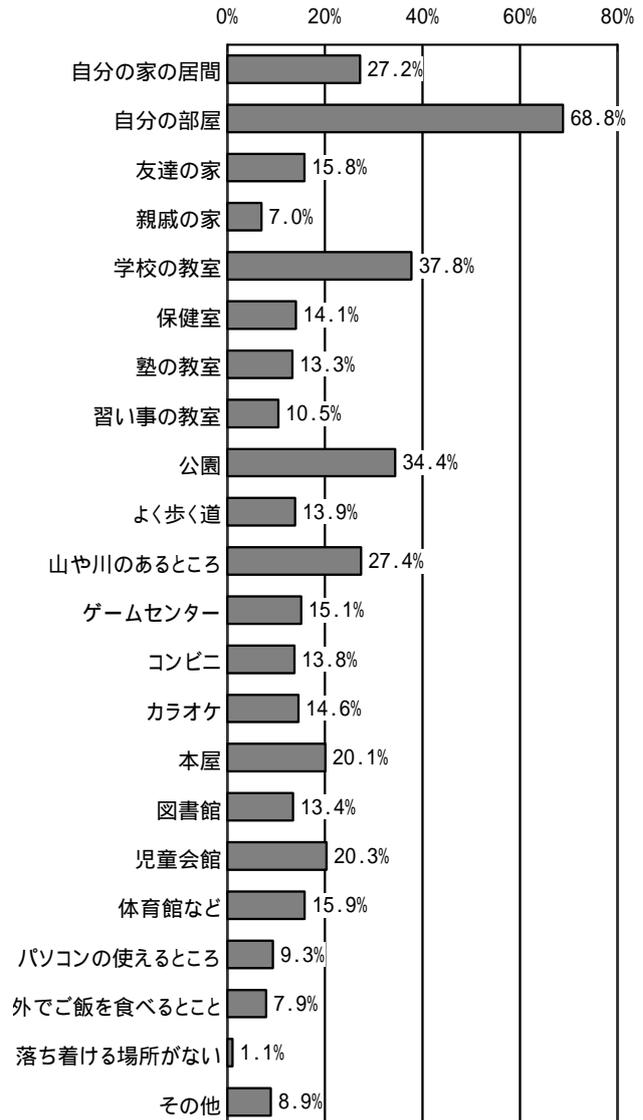


図5 - 11 落ち着く場所・好きな所（詳細）
（中学生以上）(N=945、複数回答)



4. 楽しく、ほっとする時

楽しく、ほっとする時をたずねたところ、小学生では、「自宅にいるとき」が80.5%と最も高く、次いで「友達と過ごすとき」が76.9%となっている。一方、中学生以上では、「友達と過ごすとき」が82.6%と最も高く、次いで「自宅にいるとき」が79.3%となっている。

図5 - 12 楽しく、ほっとする時
(小学生)(N=3,287、複数回答)

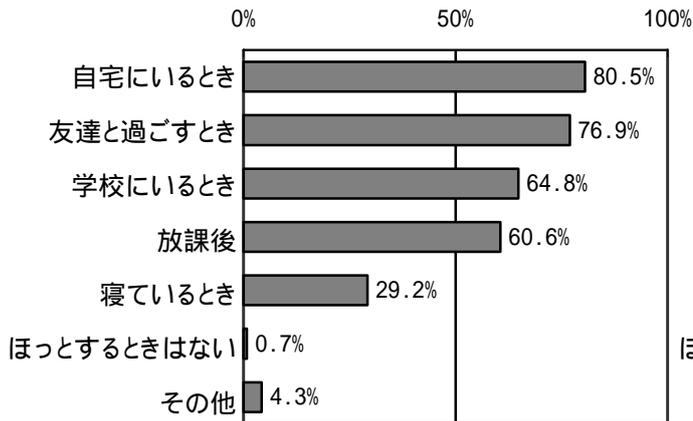
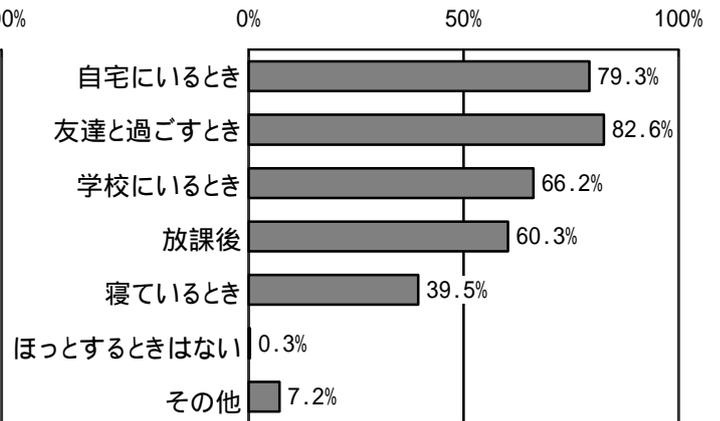


図5 - 13 楽しく、ほっとする時
(中学生以上)(N=945、複数回答)



また、楽しく、ほっとする時を詳細にみると、小学生では、学校にいるときの「休み時間のとき」が54.4%と最も高く、次いで、放課後の「遊んでいるとき」が48.2%、自宅にいるときの「テレビを見ているとき」が43.9%となっている。一方、中学生以上では、友達と過ごすときの「おしゃべりをしているとき」が58.1%と最も高く、次いで放課後の「遊んでいるとき」が54.4%、学校にいるときの「休み時間のとき」が49.4%となっている。

図5 - 14 楽しく、ほっとする時（詳細）
（小学生）(N=3,287、複数回答)

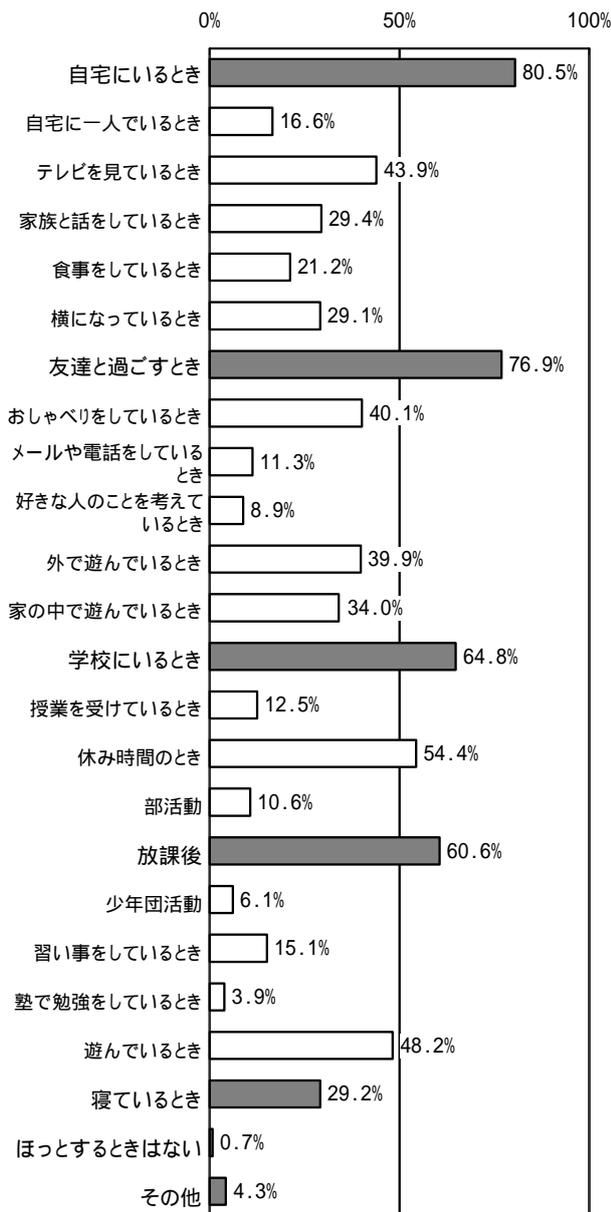
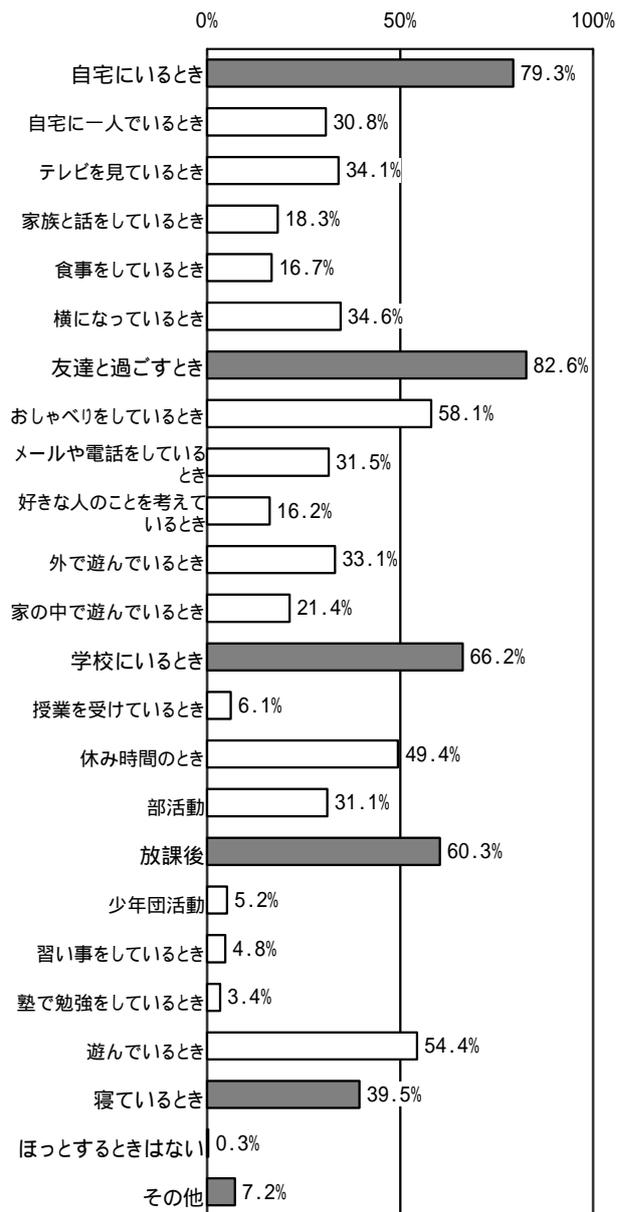


図5 - 15 楽しく、ほっとする時（詳細）
（中学生以上）(N=945、複数回答)



5. 本当は「やりたいこと」と思っているのに、できないこと

(1) 「やりたい」と思っているのに、できないことの有無

本当は「やりたい」と思っているのに、できないことをたずねたところ、小学生、中学生以上ともに「ある」が「ない」を上回っており、小学生では、「ない」より28ポイント、中学生以上では7.8ポイント高くなっている。

図5-16 「やりたい」と思っているのに
できないことの有無
(小学生)(N=3,287)

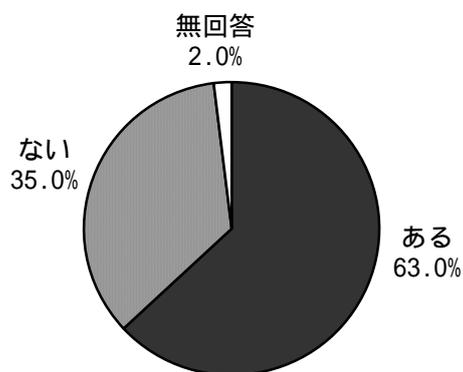
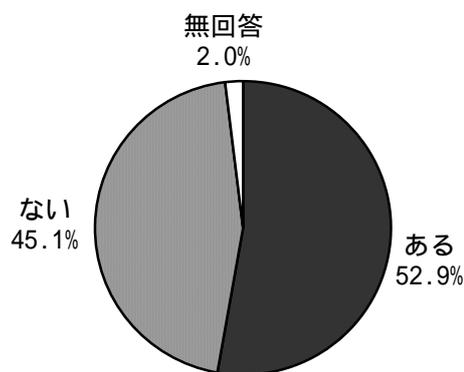


図5-17 「やりたい」と思っているのに
できないことの有無
(中学生以上)(N=945)



(2) 「やりたい」と思っているのに、できない理由

「やりたい」と思っているのに、できないことがあると答えた小学生2,070人と、中学生以上500人に、その理由をたずねたところ、小学生、中学生以上ともに、「時間がないから」がそれぞれ41.4%、47.2%と高くなっているものの、小学生では、「親にダメといわれているから」が41.7%と最も高く、一方、中学生以上では、「お金がないから」が48.4%と最も高くなっている。

図5-18 できない理由
(小学生)(N=2,070、複数回答)

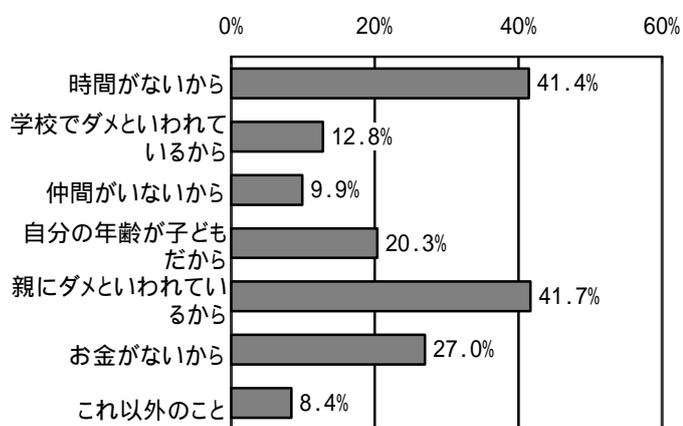
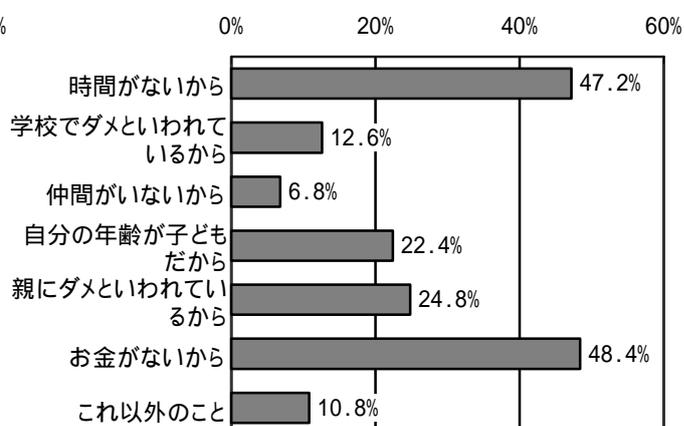


図5-19 できない理由
(中学生以上)(N=500、複数回答)



6 . 大切だと思うこと

大切だと思うことをたずねたところ、小学生では、「勉強すること」、「友達がいること」がともに50%以上と高く、次いで「遊ぶこと」、「大人の言うことを聞くこと」、「夢があること」が35%以上となっている。一方、中学生以上では、「友達がいること」が70.6%と最も高く、次いで「遊ぶこと」、「夢があること」が50%以上となっている。小学生では高い割合を示した「大人の言うことを聞くこと」は7.3%と低くなっている。

図5 - 20 大切だと思うこと
(小学生)(N=3,287、複数回答)

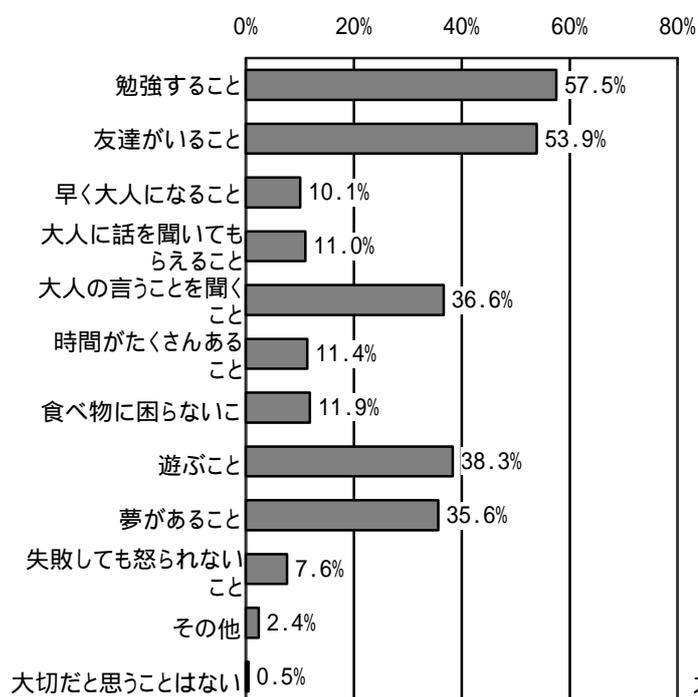
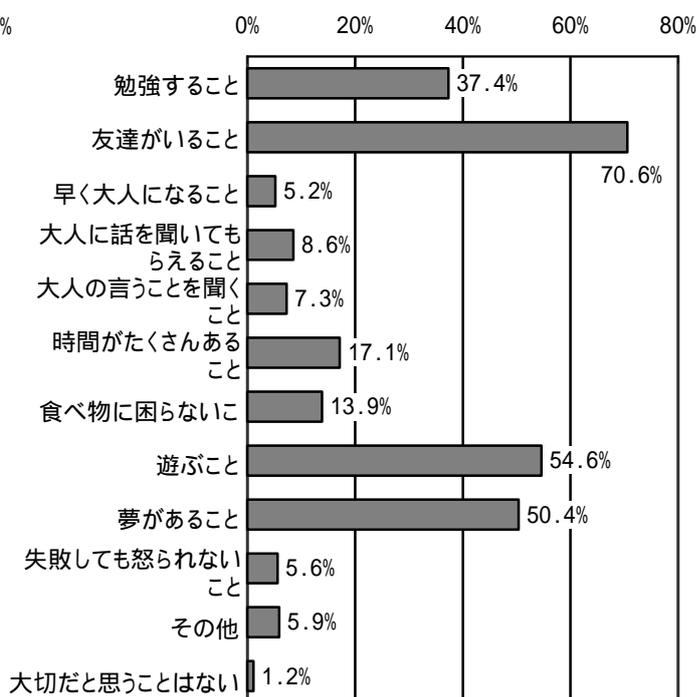


図5 - 21 大切だと思うこと
(中学生以上)(N=945、複数回答)



7. 大人にしてもらいたいこと

大人にしてもらいたいことをたずねたところ、小学生、中学生以上ともに、「自分のことは自分で決めさせてほしい」が最も高く、それぞれ33.3%、42.2%となっている。次いで、小学生では、「約束を守る」が28.1%、「もっと話を聞いてほしい」が27.9%となっており、中学生以上では、「友達や兄弟と比べない」が34.2%、「決まりや約束を押しつけない」が32.1%となっている。

なお、「してもらいたいことは特にない」は、小学生、中学生以上ともに10%以上となっている。

図5-22 大人にしてもらいたいこと
(小学生)(N=3,287、複数回答)

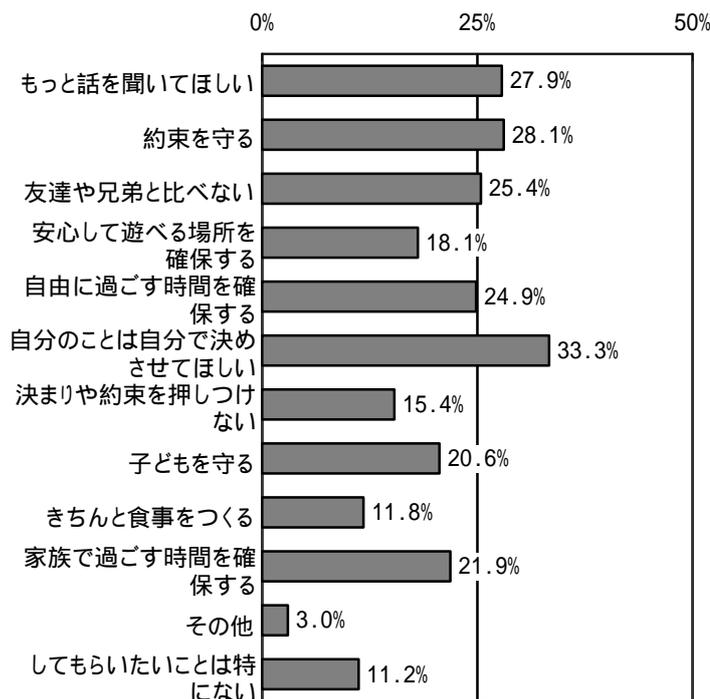
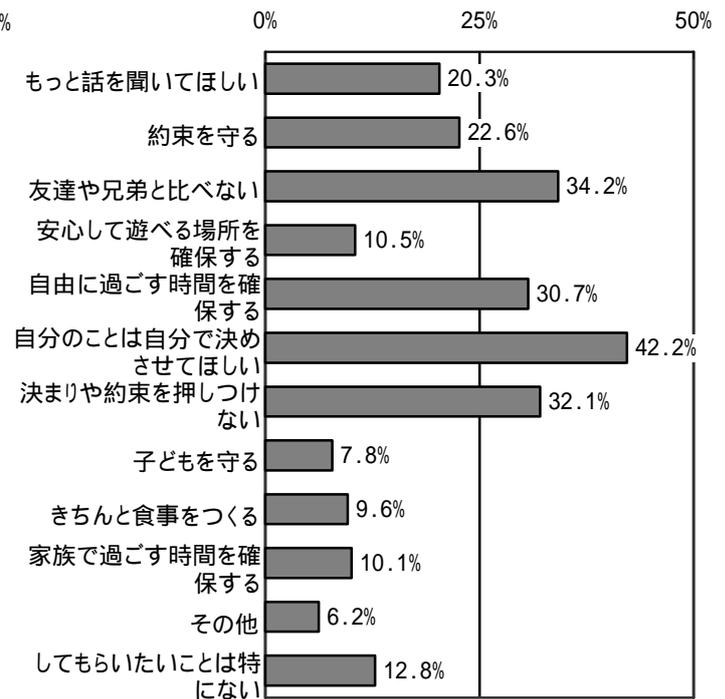


図5-23 大人にしてもらいたいこと
(中学生以上)(N=945、複数回答)



8. 今、悩んでいること

今、悩んでいることをたずねたところ、小学生では、「普通の勉強」が35.7%と最も高く、次いで「お金のこと」が27.3%、「友達のこと」が24.1%となっている。一方、中学生以上では、「受験や進路」が45.4%と最も高く、次いで「普通の勉強」が43.2%、「将来のこと」が36.2%となっている。

なお、小学生では、「悩んでいることは特にない」が17.8%となっている。

図5-24 今、悩んでいること
(小学生)(N=3,287、複数回答)

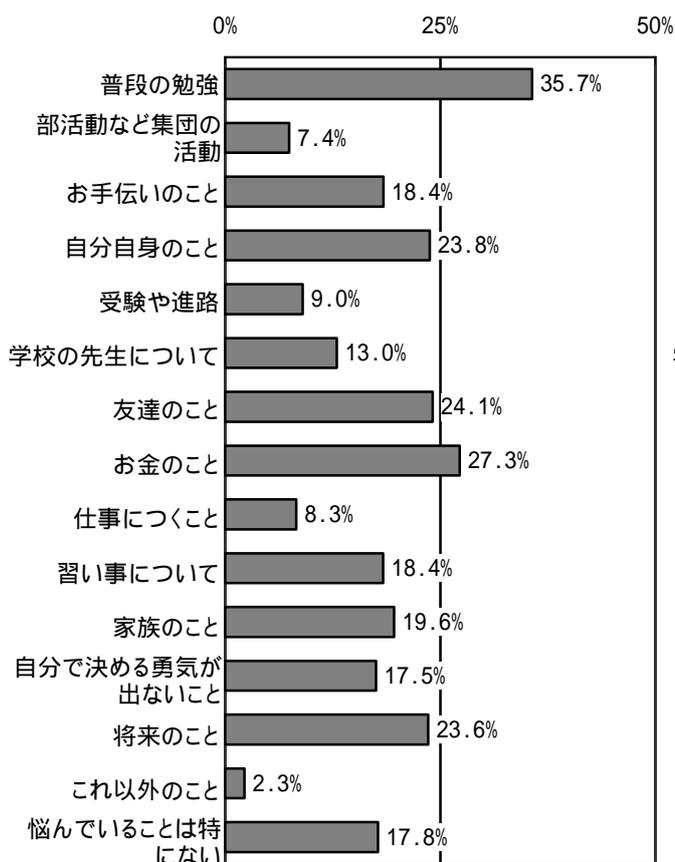
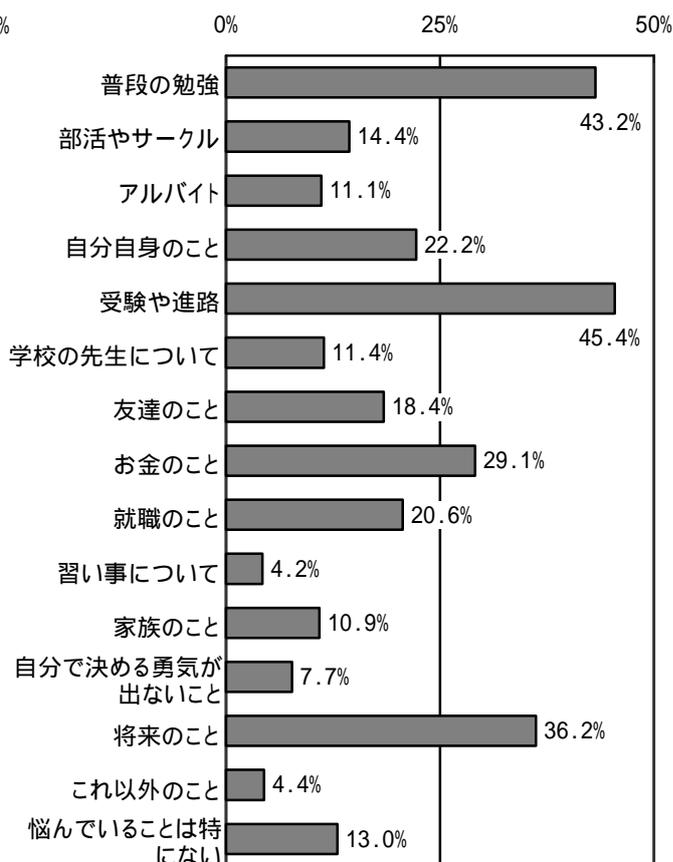


図5-25 今、悩んでいること
(中学生以上)(N=945、複数回答)



9. 困っているときに相談する人

困っているときに相談する人をたずねたところ、小学生では、「親」が66.8%と最も高く、次いで「学校の友達」が43.7%、「学校の先生」が24.8%となっている。一方、中学生以上では、「学校の友達」が61.2%と最も高く、次いで「親」が34.9%、「学校以外の友達」が21.1%となっている。

なお、中学生以上では、「相談する人は誰もいない」が11.7%となっている。

図5-26 困っているときに相談する人
(小学生)(N=3,287、複数回答)

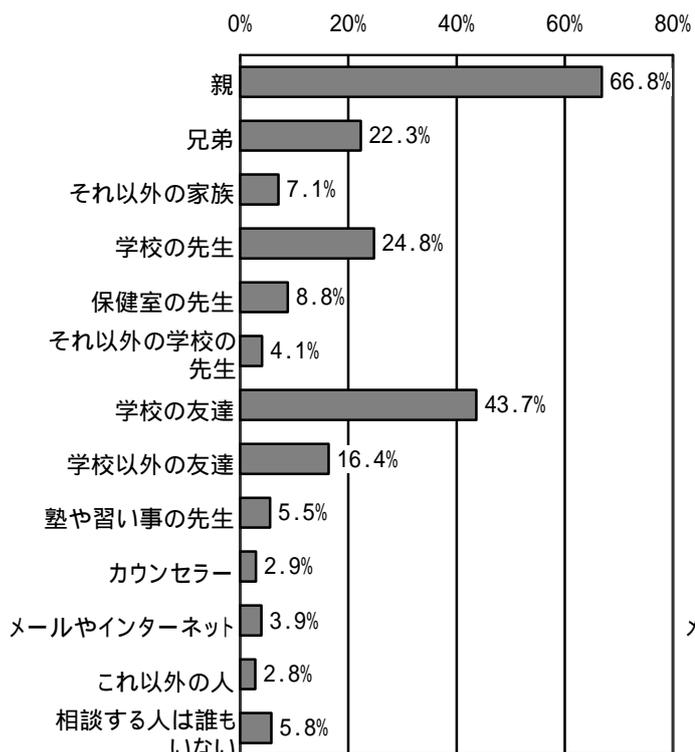
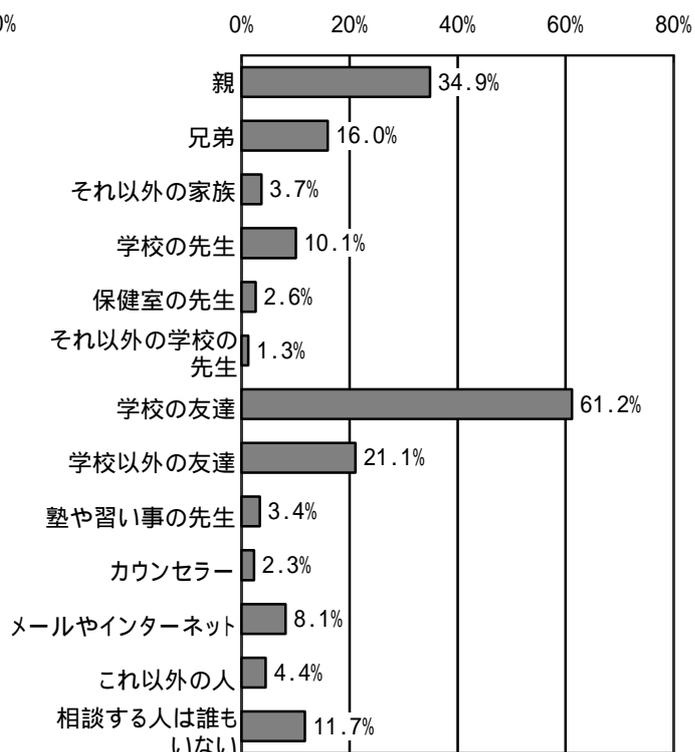


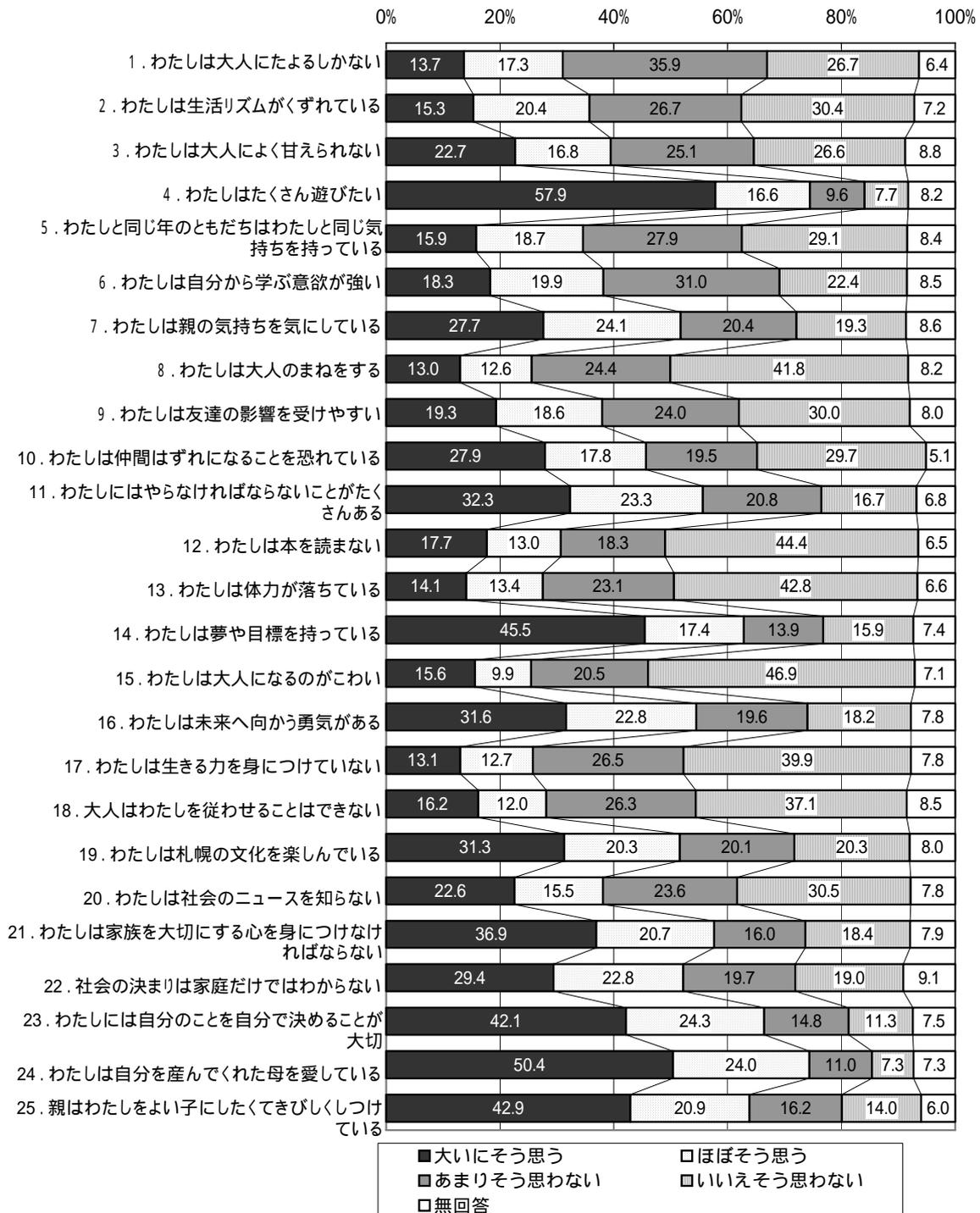
図5-27 困っているときに相談する人
(中学生以上)(N=945、複数回答)



10. 現在感じている子どもの姿

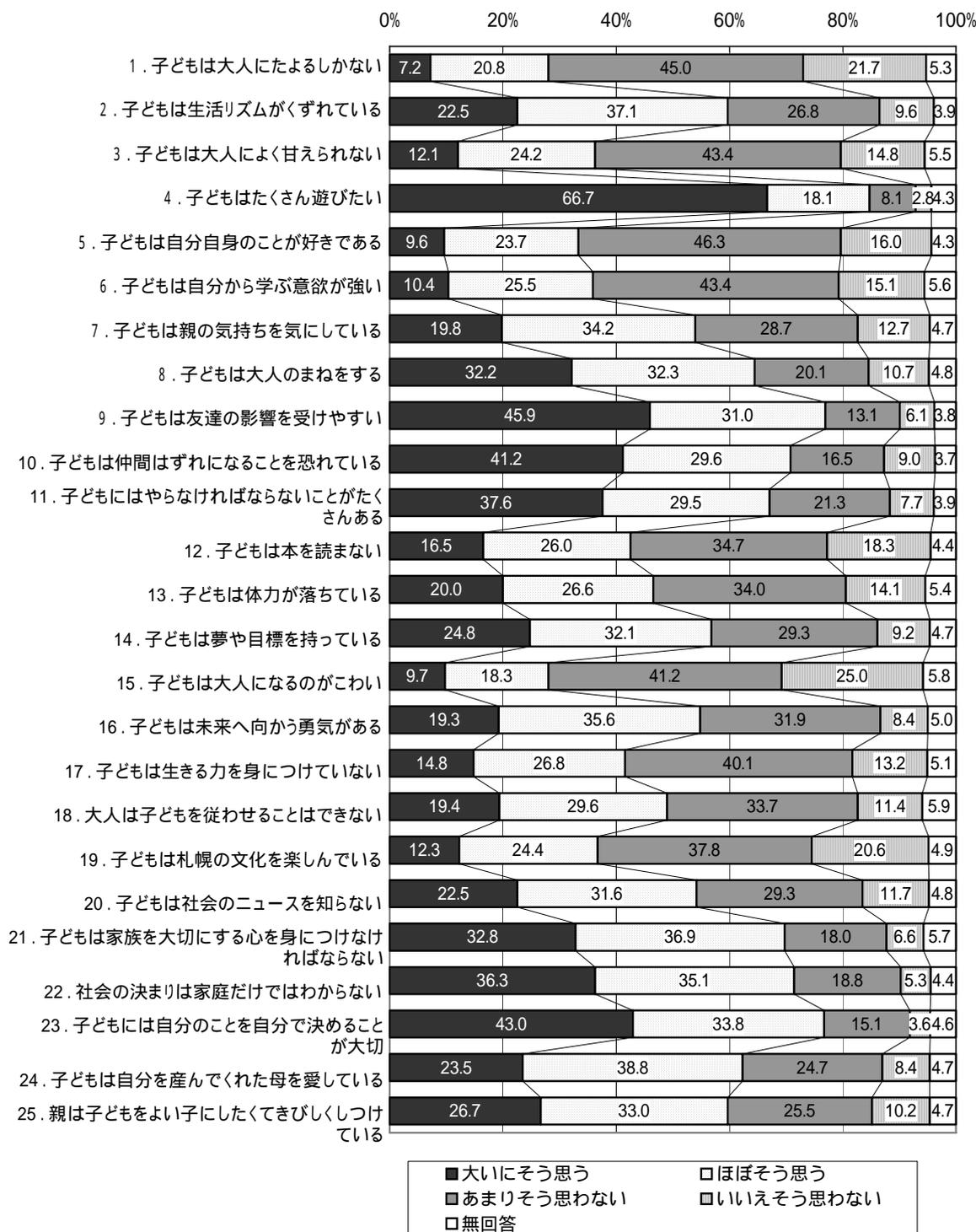
小学生に、現在感じている自分の姿をたずねたところ、「4.わたしはたくさん遊びたい」、「24.わたしは自分を産んでくれた母を愛している」、「14.わたしは夢や目標を持っている」において、「大いにそう思う」の割合が高くなっている。

図5 - 28 自分の姿（小学生）(N=3,287)



中学生以上に、現在感じている子どもの姿をたずねたところ、「4.子どもはたくさん遊びたい」、「9.子どもは友達の影響を受けやすい」、「23.子どもには自分のことを自分で決めることが大切」、「10.子どもは仲間はずれになることを恐れている」において、「大いにそう思う」の割合が高くなっている。

図5 - 29 子どもの姿 (中学生以上) (N=945)



11. 「子どもの権利条例」づくりの認知度

札幌市が「子どもの権利条例」づくりに取り組んでいることを知っているかをたずねたところ、小学生では、「知っている」が13.8%、「知らない」が73.9%となっている。中学生以上では、「知っている」が29.4%、「知らない」が65.2%となっている。

図5 - 30 「子どもの権利条例」づくりの認知度
(小学生)(N=3,287)

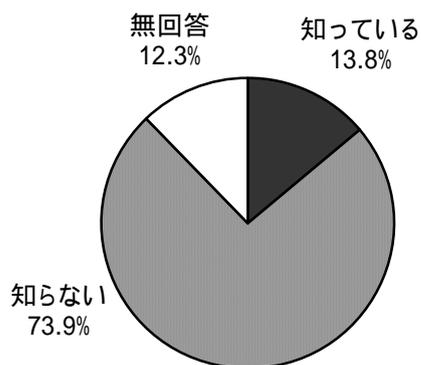


図5 - 31 「子どもの権利条例」づくりの認知度
(中学生以上)(N=945)

